

陳情第143号	受理年月日	平成28年3月18日
付託委員会	保健病院委員会	
陳情者	福岡市博多区博多駅前一丁目19-3 福岡県民主医療機関連合会 会長 橋口 俊則 外1団体	
件名	保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書の提出について	
要旨	<p>歯や口腔を健康な状態に保ち、そしゃくや口腔機能を維持・回復することは、全身の健康や療養・介護のQOL（生活の質）の向上に大きな役割を果たすことが、8020運動等によって明らかになり、医療費の抑制にもつながることが、さまざまな調査研究で実証されている。</p> <p>しかし、公的医療保険の窓口での自己負担が高いことに加え、歯科医療は長期間にわたり、金属床の義歯やセラミックを用いたメタルボンドなど、保険給付の対象とされていない治療が多いために患者の医療費負担が大きく、歯科治療が受けにくい状況となっている。</p> <p>また、歯科医療の内容を左右する診療報酬は、長年低く抑え続けられているのが実情である。歯科医療技術の進歩や保険医療における歯科の位置づけの重要性を踏まえ、診療報酬の面からも適正な技術評価を行うことが求められている。</p> <p>同時に、歯科医師だけでなく、公的歯科医療を支える歯科技工士や専門的口腔ケアの主要な担い手である歯科衛生士の業務に対する評価をさらに高める必要がある。</p> <p>医療の窓口負担の軽減と歯科の保険給付範囲の拡大は、患者・国民の強い願いである。更に、2011年に成立した歯科口腔保健法を実効あるものとするために、国及び各自治体において、総合的・具体的な歯科口腔保健の推進が期待されている。</p> <p>ついては、保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書を提出していただきたい。</p>	